



令和4年(2022年)4月10日発行

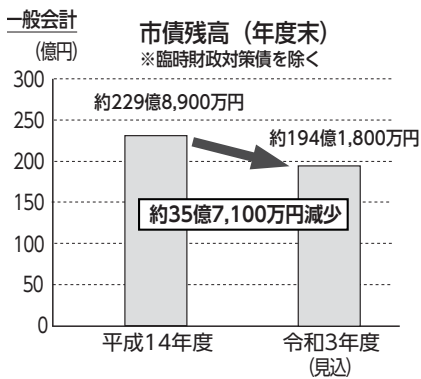
1…財政非常事態宣言解除 2~3…亀井市長退任 20年を振り返る
4~5…名張感動 6…かわまちづくり事業 7…予算

プレミアム付商品券を販売します。詳しくは16ページ

△催しへの参加は感染対策の徹底を。催しなどは中止・延期の場合あり

発行/名張市 秘書広報室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎ 0595-63-7402 FAX 0595-64-2560 ✉ pr@city.nabari.mie.jp

【グラフ①】



私が就任した平成14年当時の市の財政状況は、高度・多様化する市民ニーズに対応するため、都市基盤整備をはじめ、福祉、医療、産業、教育、大学誘致と幅広く事業を推進してきた結果、管理的な経費や公債費(公施設やインフラ整備など)に際して発行した市債の償還費)な

徹底した行政改革に取り組んだ20年



3月定例会に臨む亀井市長

令和4年3月31日をもって 財政非常事態宣言を解除

3月の名張市議会定例会において、市長は、平成14年9月に発令した「財政非常事態宣言」を令和3年度末で解除することを表明しました。今号では、その要旨をご紹介します。

どが増大し、税収が伸び悩む中、財政が破綻寸前という状況でした。

そのような中、財政を再建し、市政を一新することが最優先であると考へ、平成14年9月に「財政非常事態宣言」を発令。その後、財政再建を目的に徹底した行政改革を進めてきました。

さらに、平成28年度からは、超高齢社会や人口減少社会においても、持続可能で安定した市民サービスを提供していくための土台づくりとして、「都市振興税」を導入しました。

また、市の借金である市債の残高を抑えること(グラフ①)や、市の貯金である財政調整基金の計画的な積立をはじめ、「人件費の抑制」や「事務事業の見直し」、「市立病院の経営改革」など、歳入確保と歳出抑制に取り組んできました。

財政調整基金を約15億円確保する見込み。健全化に兆し

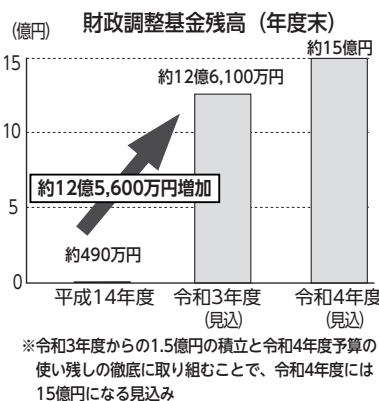
こうした財政健全化の取組の成果として、都市振興税が終了する令和6年度以降も収支の黒字化を図ることができる見込みです。また、国の経済対策効果

もあり、財政調整基金の積み増しが可能となり、令和3年度末の財政調整基金残高は、約12億6千万円を、令和4年度には約15億円を確保できる見込みです。(グラフ②)

昨年10月に策定した「中期財政計画」も踏まえ、財政健全化の兆しが見えてきたことから、令和3年度末をもって、「財政非常事態宣言」を解除します。

財政非常事態宣言を発令以降、20年もの長きにわたり、行政改革を断行しつつも、市民サービスを低下させることなく市政運営を継続できたのは、市民の皆さん、地域づくり組織・各種団体のご理解とご協力があつたからであり、深く感謝いたします。

【グラフ②】



※令和3年度からの1.5億円の積立と令和4年度予算の使い残しの徹底に取り組むことで、令和4年度には15億円になる見込み

今期で市長を退任しますが、財政調整基金を約15億円確保できる見込みとなり、また、懸案事業の財源も確保するなど、「名張躍進の土台づくり」はできました。

ここからは、次の市長に希望を託し、「財政非常事態宣言」を解除した上で、バトンタッチをさせていただきます。

宣言解除後も、慎重な財政運営が求められます

将来にわたり持続可能で安定的な財政運営を行っていくためには、新規の投資的経費(公共施設・インフラ整備)を抑制することで、市債発行額(借金)を減らしていく必要があります。

また、新型コロナウイルスの感染拡大による影響が長期化する中、地方財政を取り巻く環境は、依然として不透明であること、人口減少や少子高齢化、老朽化施設の更新、市立病院の経営改革など、今後取り組むべき課題が多くある中で、行政改革の取組は継続していく必要があります。

☎ 財政経営室 ☎ 63-7403

4月17日(日)は、市長選挙 / 市議会議員選挙の投票日

期日前投票
市役所 1階大会議室

4月11日(月)～16日(土)
午前8時30分～午後8時
◎投票所入場券をお持ちください

※入場券がお手元に届いていない場合でも、選挙権があり、選挙人名簿に登録されている人は投票できます。
※混雑緩和のため、事前に入場券裏面の宣誓書欄に記入してご来場ください。

☎ 市選挙管理委員会 ☎ 63-7314